

# 第47回 郡市対抗県内一周駅伝大会 多久市チーム 躍進賞受賞

Sports news



▲1日目午後の再スタートをする木室選手（写真右端）

2月16日(金)から18日(日)の3日間にかけて県内を一周する県内一周駅伝大会が開催された。  
16日午前9時に基山町役場前をスタートし、ゴールとなる佐賀新聞社までの29.8kmを34の区間に分けランナーが競い合う。  
多久入りとなる18日には、中継所である県立産業技術学院前に、ランナーの奮闘ぶりを

順位	累計時間	タイム差
①佐賀市	15:48:20	—
②唐津・玄海	16:01:03	12:43
③伊万里	16:01:36	0:33
④武雄	16:03:34	1:58
⑤杵島	16:14:27	10:53
⑥小城	16:28:26	13:59
⑦鳥栖	16:31:25	2:59
⑧神埼・吉野ヶ里	16:41:19	9:54
⑨鹿島	16:53:01	11:42
⑩嬉野・太良	16:59:59	6:58
⑪佐賀郡	17:04:28	4:29
⑫多久	17:39:41	35:13
⑬三養基	17:41:16	1:35
⑭西松浦	17:52:21	11:05

を称えようと多くの人が集まり通過する選手に声援を送っていた。  
今回の多久市チームは、メンバーの大幅な変更はなかったもののベテラン諸田雄一郎選手の加入や若手選手の成長により総合力は確実にアップしていた。  
初日の午前中を10位で終えスタートタツシユに成功。その後、順位を落としながらも2日目の17区では諸田選手の区間2位、3日目は31区で田中理菜選手(中央中1年)が大人顔負けの力走を見せ区間3位につけるなど随所に快走を見せ粘り強い走り続けた。最終日は13位でゴールしたものの総計12位の成績を収めた。多久市チームは、昨年に比べ36分21秒累計タイムを短縮しており躍進賞獲得をなした。



▲タスキを受けとりスタートする小屋敷選手



▲新加入の諸田選手

## 選手のみなさん お疲れさまでした



▲後輩からタスキを受け多久町を走る山田選手



▲笹原峠を越え多久入りした陣内選手



▲海岸沿いを潮風を受けながら力走する末岡選手



▲諸田選手へタスキをつなぐ尾鷲選手(写真中央)